

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大紀町長 服部 吉人

市町村名 (市町村コード)	大紀町 (24467)
地域名 (地域内農業集落名)	若瀬 (古里)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月13日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

耕作者の高齢化と担い手(後継者)がいないため先行きが不安。
獣害被害が大きな為その対策に多額な費用と労力がかかるのが問題である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

とりあえず話し合いながらやれるところまでやる。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	9.3 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	9.3 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とした。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
耕作が出来なくなった場合、話し合いにて集約化へ移行
(2)農地中間管理機構の活用方針
現状のままでいく。将来は検討する。
(3)基盤整備事業への取組方針
なし
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域で協力して助け合い営農していく形を作っていく
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
費用負担にもよるが、作業の効率化を考えて活用を検討したい。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①防護柵の設置、被害拡大なためどこまで対応できるか不安。